

2. 学校園における教育の充実

(1) ICT教育について

- ① インターネットリテラシー教育の現状について
- ② ICT教育における設備の充実度について
- ③ 学校内におけるセキュリティ対策について

【答弁】

①から③につきまして、順次お答えいたします。

まず、①インターネットリテラシー教育の現状についてですが、情報技術の発展に伴うインターネットの普及により、スマートフォン等の情報端末の利用拡大が急速に進んでおります。そのメリットを活かすには、インターネットのことを正しく理解し、適切に活用できる力、いわゆるインターネットリテラシーが必要です。こうした力の育成に向け、本市の小中学校では各教科や総合的な学習の時間などで、調べ学習にインターネットを活用し、情報を収集し取捨選択する力や、発信できる力の育成に取り組んでおります。特に、中学校では技術・家庭科の時間を中心に、調べたことをパワーポイントでまとめ、プレゼン資料を作成したり、情報通信ネットワークのしくみや情報モラル等について学習したりしているところ です。

また、近年では、ソーシャルメディアによるトラブルが急増しておりますことから、子どもたちを被害者にも、そして、加害者にもさせない取組が重要となっております。そこで、外部講師を招いた学習機会を設けたり、保護者への啓発として、講演会を実施したり、学校通信等による注意喚起を行ったりするなど、各校の状況に応じた取組を進めているところです。

続きまして、②ICT教育における設備の充実度についてですが、各小中学校においては、これまで、パソコン教室のリニューアルを中心に整備を進め、本年度は中学校4校のパソコンを最新のノート型パソコンに更新しました。次年度は、残る4校について、更新を計画しております。また、電子黒板につきましては、各校に1台設置し、無線LANも特別教室に設置しております。なお、現在導入に至っていないタブレットにつきましては、他市町村の導入例も参考にしながら、研究を進めているところでございます。

続きまして、③学校内におけるセキュリティ対策についてですが、現在、教育用パソコン及び校務用パソコンともに、ウィルス対策ソフトを導入しております。また、市教委より各校に「情報セキュリティに関する規定」を示すとともに、「セキュリティ対策チェックリスト」を活用した研修等を行い、対策の徹底を図っているところです。

本市教育委員会といたしましては、こうした学校内におけるセキュリティ対策や、インターネットリテラシー教育は極めて重要であるとの認識のもと、ICT設備を有効活用し、先進的な事例も参考にしながら、引き続き取組を進めて参ります。